

主催：
仙台短篇映画祭実行委員会

共催：
せんだいメディアテーク

後援：
河北新報社

仙台放送

三洋テレビ

KHB 東日本放送

仙台放送局

TBC 東北放送

S-style

ラジオ3 FM76.2

エフエム仙台

仙台リビング新聞社

朝日新聞仙台総局

読売新聞東北総局

毎日新聞仙台支局

産経新聞社東北総局

日本経済新聞社仙台支局

仙台市教育委員会

仙台商工会議所

協賛

せんだい・宮城フィルムコミッション

東北芸術工科大学

今野印刷株式会社

協同組合仙台卸商センター

一蔵

東宝

東宝

東宝

東宝

Aquarium 寿志 Dining Kizuna - 絆 -

STYLUS スタイルス

ラブミー牧場

エステート赤坂

協力

桜井薬局セントラルホール

フォーラム仙台/チネ・ラヴィータ

KANEIRI Museum Shop 6

クレブスキュール・カフェ

文化庁メディア芸術祭国内巡回事業

smt 日本語字幕制作ボランティア

smt 音声解説制作ボランティア

東北日活

株式会社ティ・ジョイ

東京藝術大学大学院映像研究科

有限会社 鈴木映画

仙台市民図書館

助成

芸術文化振興基金

公益財団法人カメイ社会教育振興財団[仙台市]



仙台短篇映画祭実行委員会

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室内

Tel: 080-3146-6085/info@shortpiece.com

http://www.shortpiece.com/

design: Matsui Kentaro

一

映

画

一

を

観

に

い

く

仙台 短篇 映画

祭

ショートピース!

SENDAI SHORT FILM FESTIVAL

2015年9月20日(日) - 22日(火・休)

せんだいメディアテーク

2015

チケット販売

前売

3プログラム回数券=2,500円(100セット限定)
 ●回数券は7F・A~Iと1F・3~4プログラムで利用できます。

全日フリーパス=4,000円(30セット限定)

●フリーパスは全プログラムおよび交流会で利用できます。

当日

1プログラム券=1,000円

●当日学生証提示で高校生以下800円

豊齢カード(豊齢手帳)・障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名まで800円となります。
 (Aプログラムは全ての方が500円となります。)

プレイガイド

8月10日(月)発売 [回数券、フリーパスのみ]

・せんだいメディアテーク1階

KANEIRI Museum Shop 6

・Peatix(<http://shortpiece-sendai2015.peatix.com/>)

託児情報

託児マーク①がついているプログラムでは、託児をご利用できます。

事前申込制/1歳半~未就学児が対象

定員8名

ご希望の方はFaxまたは電子メールにて、氏名・住所・電話番号・お子様の年齢(月齢まで)・希望回を添え、9月9日(水)までにお申し込みください。

※申し込みいただいた個人情報は、当該事業及び関連事業の連絡やお知らせのみに使用致します。

お申込先(せんだいメディアテーク企画・活動支援室内仙台短篇映画祭託児係)

Fax: 022-713-4482

E-mail: info@shortpiece.com

チケットの購入・引換えについて

●当日券の販売及び回数券の引換えは、各日10:00より7階スタジオシアター前会場受付にて行います。

●当日券は、その日1日分のチケットが購入できます。

●フリーパス・回数券は、入場を優先するものではありません。

●フリーパス・回数券をお持ちの方も、当日の受付にて、ご覧になるプログラムチケットとの引換えが必要です。

●チケットのナンバーは、入場順ではありません。

●160席/全席自由/入替制/各回とも、開場は上映の15分前となります(Aプログラムのみ30分前に開場)。

●満席の場合は、入場をお断りすることがございます。ご了承ください。

●理由の如何を問わず、チケットの再発行には対応しかねます。

アクセス

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1

せんだいメディアテーク

地下鉄 仙台駅から泉中央行きで3分、勾当台公園駅下車。「公園2」出口から徒歩6分。

バス 仙台市営バス仙台駅前29番(庄内銀行前)のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行きで約10分。メディアテーク前下車。

徒歩 仙台駅より約20分(約1.8km)



1F

sendai mediatheque

1st floor open square

今年も様々な角度から映画を楽しみ、味わう企画取り揃えました。映画を観て、聴いて、話して……映画祭ならではの体験を、是非どうぞ。

1a 9/20(Sun)
17:00-

フィルムの音が聞こえる

●料金:500円/人(未就学児童無料)

35ミリと16ミリのフィルム映写機を1階オープンスクエアに設置し、今ではなかなか観られない、貴重なフィルム作品を2日にわたり上映。生き物のような映写機が放つ、独特の柔らかい光と熱、そして音。自在に操る映写技師・浅井浩雄さんの呼吸とともに、フィルムの持つ味わいを存分に楽しんでください。[機材提供:鈴木映画]

35mm Film



吸血鬼

1932年/フランス、ドイツ/白黒/35ミリ/70分/監督・編集:カール・テオドア・ドライヤー/脚本:カール・テオドア・ドライヤー、クリステン・ユール/出演:ジュリアン・ウェスト、アンリエット・ジュラルほか/作品提供:コミュニティシネマセンター

青年が寝ていると部屋に老人が訪れ、自分の死後に開けよとメッセージの書かれた包みを彼に渡す。その後たどり着いた館には、2人の娘ジゼールとレオーナが住んでいた。病に臥せるレオーナの首には不審な傷が…

カール・テオドア・ドライヤー(1889-1968)

[Carl Theodor Dreyer]

デンマーク、コペンハーゲン出身の映画監督。20歳の頃から地方紙に劇評を書き始め、1919年に監督第一作『裁判長』を制作。主な作品に『裁かるるジャンヌ』(29)、『怒りの日』(43)、『奇跡』(55)など。長い間企画していた『ナザレのキリスト』の実現目前の68年に死去。64年に監督した『ゲアトルース』が遺作となった。

浅井浩雄[あさい・きちお]



(株)東北日活代表。1948年に仙台日活映画劇場に入社後、映写技師として仙台の映画文化を支え続けて来た「仙台の宝」。「仙台でフィルム上映なら、浅井さん」というファンがいるほど、85歳になった今も活躍中。

1b 9/22(Tue, Holiday)
13:15-

16mm Film



キートンの探偵学入門

1924年/アメリカ/モノクロ・サイレント/44分/監督・編集:バスター・キートン/出演:バスター・キートン、キャサリン・マクガイア/作品協力:マツダ映画社

盗難の疑いをかけられ、ふてくされて映写中に寝てしまう映写技師のキートン。すると、夢の中の映画でも盗難事件が発生し、彼は主人公となって難事件を解決する。夢と現実が交錯する、奇想天外な物語。

バスター・キートン(1895-1966)

[Buster Keaton]

アメリカの喜劇俳優、映画監督、脚本家。本名ジョセフ・フランク・キートン。チャーリー・チャップリンやハリウッド・ロイドと並び、「世界の三大喜劇王」と呼ばれている。喜怒哀楽を一切顔に出さない「偉大なる無表情」と、アクロバティックなアクションとギャグのギャップが、今もおファンに愛され続けている



月世界旅行

1902年/フランス/モノクロ・サイレント/11分/制作・脚本・監督・美術:ジョルジュ・メリエス/作品協力:マツダ映画社

6人の天文学者が巨大な砲弾型ロケットで月を目指し、月世界人との格闘を経て再び地球にたどり着くまでを描く。様々なトリック技法を駆使した世界初のSF作品であり、映画史を語る上で欠かせない一本。

マリー=ジョルジュ=ジャン・メリエス

(1861-1938) [Marie Georges Jean Méliès]

フランスの映画制作者。映画の創成期において様々な技術を開発した、「世界初の職業映画監督」。代表作の『月世界旅行』(1902)、貴重なSF初期映画『不可能を通る旅』(1904)のほか、ホラー映画制作においても知られている。同時期のリュミエールが現実の複製に専念したのに対し、メリエスは幻想世界の創造に専念したと言える。

Ⓑ:バリアフリーマーク

Ⓘ:託児マーク

Ⓖ:ゲスト来場マーク

⒫:プレゼントマーク

●上記2作品の上映は16ミリで行います。